記者発表資料

平成２１年　７月１６日
東 北 地 方 整 備 局

第２４回「手づくり郷土（ふるさと）賞」の募集開始について
～魅力あふれる地域活動のご応募をお待ちしております～

国土交通省では、地方公共団体や地域づくり活動に取り組む団体を対象として、**「手づくり郷土賞」の募集を開始**します。

「手づくり郷土賞」は昭和６１年度に創設され、今年度で２４回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

地域の魅力や個性を創出している良好な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を一体の成果として発掘・評価し、「手づくり郷土賞」として表彰することにより、好事例を広く紹介し、個性的で魅力ある地域づくりに向けた取組が進むことを目指し実施しています。

募集スケジュール

- 平成２１年　７月１６日（木）　募集開始
- 平成２１年　９月１１日（金）　募集締め切り
- 平成２２年　１月　選定委員会による選定、結果の公表
- 平成２２年　３月　認定証授与式

添　付　資　料

- 資料１　「手づくり郷土賞」応募要領
- 資料２　平成２１年度「手づくり郷土賞」募集パンフレット
- 資料３　平成２０年度の選定箇所について

※応募に必要な書類等の様式については、下記のアドレスにアクセスすると入手できます。
〔http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tedukuri/entry/index.html〕

※国土交通本省においても記者発表を実施しております。

発表記者会 ： 宮城県政記者会・東北電力記者会・東北専門記者会

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局
代表　０２２－２２５－２１７１
企　画　部　企画課長　依田 秀則　（内線３１５１）
企画課長補佐　渡邉 守章　（内線３１５７）

資料１

「手づくり郷土賞」応募要領

国土交通省

１．「手づくり郷土賞」とは

全国各地において、その地域固有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な資源として再認識し積極的に利活用した､魅力ある地域づくりの成功例が多く見受けられます。

このような地域の魅力や個性を創出している、良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を一体の成果として発掘・評価し、「手づくり郷土賞」として表彰することにより、好事例を広く紹介し、個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が進むことを目指しています。

「手づくり郷土賞」は昭和６１年度に創設され、平成２１年度で２４回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

２．表彰内容

地域の魅力を創出している、良質な社会資本及びそれと関わりのある優れた地域活動を一体的に表彰する「手づくり郷土賞（一般部門)」、これまでに受賞したもののうちなお一層の活動の充実が行われるなど地域づくりに貢献しているものを表彰する「手づくり郷土賞（大賞部門)」の２部門にて実施します。

なお、受賞者には、認定証が授与されます。また、選定された好事例は、パンフレットやホームページなどを通じて広く全国に紹介される予定です。

３．応募について

１）応募団体：

社会資本を管理する地方公共団体（都道府県、市区町村)、又は社会資本を有効活用し地域づくり等に取り組む活動団体が、単体もしくは共同で応募するものとします。

２）応募対象：

手づくり郷土賞（一般部門）は、地域の魅力や個性を創出している、社会資本及びそれと関わりのある地域活動が一体となった成果（以下、単に「成果」という）を対象とします。

手づくり郷土賞（大賞部門）は、これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果を対象とします。

３）提出方法：

応募資料（応募用紙、参考資料及び自己ＰＲ映像）を、募集期間内に提出してください。なお、提出先は「６．問い合わせ先」へ確認願います。

応募用紙は、国土交通省ホームページよりダウンロードできます。ご利用ください。

URL：http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tedukuri/entry/index.html

４）「手づくり郷土賞」の対象とならないもの：

※次の事項に該当する場合には、手づくり郷土賞の対象とはなりませんので、ご注意ください。

①社会資本の整備、維持管理、利活用等と関わりが認められない活動
②行政機関が主導している活動
③活動期間が３年未満の活動
④地域社会、地域住民への貢献が認められない活動
⑤これまでに、全国規模で行われている同様趣旨の他の表彰を受けている場合は、当時の表彰内容と今回の応募内容が同一のもの （内容の発展が認められれば可）

５）スケジュール（予定）：

募集開始　　（平成２１年　７月１６日）
募集締め切り　　（平成２１年　９月１１日）

応募資料は各地方整備局等にて応募要件のチェックを行った後、地方整備局等内に設置される地方運営委員会の評価結果を付し、国土交通本省へ提出されます。
応募の対象とならないものがあった場合は、その旨応募団体へ通知いたします。

選定委員会による選定　（平成２２年　１月）
選定結果の公表　　（平成２２年　１月）
認定証授与式　　（平成２２年　３月）

４．選定について

１）「手づくり郷土賞」の選定対象

次の要件を満たすものが、「手づくり郷土賞」として選定されます。

【手づくり郷土賞（一般部門）】

次の①及び②の要件を満たし、他の地域のモデルとなり得るもの。

① 地域の自然的・社会的条件等を踏まえた創意・工夫のもと、社会資本が整備・維持管理・利活用等されていること。
（例えば、評価するイメージは以下のとおり。
・里の原風景を残し、環境学習・景観学習が出来るような整備がされている。
・点在する自然・歴史・文化空間をネットワーク化した、回遊ルートが形成されている。
・地域の歴史文化を継承する場として、街並みが保全・利活用されている。
・世代間の交流を促進するよう、使い勝手を考慮した工夫が凝らされている。
・社会資本自身が地域資源として定着し利活用されている。　　など）

② 社会資本を有効活用し、地域の魅力の向上のための創意・工夫が行われており、公益性を有すること。
（例えば、評価するイメージは以下のとおり。
・コミュニティの育成、交流空間を創造している。
・郷土愛の醸成、環境や景観の次世代への継承を目指している。
・身近な社会基盤を見つめ直し、活かし、豊かな暮らしにつなげている。
・地域づくりの起爆剤になっている。住民と行政の連携を促している。 など）

【手づくり郷土賞（大賞部門）】

「手づくり郷土賞」を受賞した後、なお一層の活動の充実が行われるなど、個性的で魅力的な地域の実現に寄与し、他の地域のモデルとなり得るもの。

（例えば、評価するイメージは以下のとおり。

・地域づくりの成功事例の継続的な展開・進展により、新たな好事例を生んでいる。

・地域資源の地道な継承活動や新たな試みの付加により、地域の魅力が観光資源として認められ定着している。

・整備をきっかけに生まれた住民の交流が、住民主体によるまちづくりの気運を高め、行政協働のまちづくりに発展している。

・地域づくり活動が新たな産業を創出するなど地域振興へ寄与している。　など）

２）選定

応募資料及び地方運営委員会の評価結果をもとに、学識者等からなる「手づくり郷土賞」選定委員会により審査を行います。

個々の委員により予備審査を行った後、選定委員会を開催し、厳正な審査を経て選定されます。

なお、審査を行う上での選定のポイントは以下のとおりです。

①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫
（地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての育成・活用 等）

②地域活動における創意・工夫、取組の独創性
（新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組 等）

③地域づくりへの成果及び波及効果
（地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果 等）

④今後の活動の継続性・発展性
（住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫 等）

⑤他の参考となるような先進性・先導性

⑥その他（上記以外の特に優れた内容）

上記に加え、大賞部門においては以下のポイントも重視します。

⑦社会資本の地域への定着状況
（地域のシンボルとして広く認識されている、多くの地域住民が日常的に活用 等）

⑧活動の継続状況
（規模を広げながら着実に継続している 等）

⑨活動の発展状況
（新たな取組を創出している、他地域へ波及している 等）

５．その他応募にあたっての留意事項

○応募資料提出後、担当窓口等から内容の問合せを行う場合がございます。
○応募資料は原則返却いたしません。返却が必要な資料については、その旨明記下さい。
○添付する写真について
・写真は評価の上で非常に重要な判断材料となります。応募資料に写真を添付される場合には、写真貼付箇所に強調したい点のコメントを載せて下さい。その際、「手づくり郷土（ふるさと）賞」の趣旨に鑑み、なるべく無人の写真ではなく利活用状況が分かる写真を添付して下さい。
・写真の内容については、第三者の肖像権、プライバシー等を侵害することのないよう十分気をつけて下さい。また、選定された場合は、受賞団体の公表時や、冊子、ホームページ等の受賞団体紹介等で使用する場合がありますこと、事前にご了承願います。

６．問い合わせ先（担当窓口）

（事務局）
国土交通省 総合政策局 事業総括調整官室 事業調整第三係
〒100-8918　東京都千代田区霞が関２－１－３　TEL：03-5253-8111
（各地方窓口）
北海道開発局 開発監理部 開発調整課 調整係
〒060-8511　札幌市北区北八条西２丁目　TEL：011-709-2311
東北地方整備局 企画部 企画課 事業景観・連携係
〒980-8602　仙台市青葉区二日町９－１５　TEL：022-225-2171
関東地方整備局 企画部 企画課 環境係
〒330-9724 さいたま市中央区新都心２－１　TEL：048-600-1329
北陸地方整備局 企画部 広域計画課 幹線道路調査係
〒950-8801　新潟市中央区美咲町１－１－１　TEL：025-370-6687
中部地方整備局 企画部 広域計画課 計画調整係
〒460-8514　名古屋市中区三の丸２－５－１　TEL：052-953-8129
近畿地方整備局 企画部 企画課 事業調整係
〒540-8586　大阪市中央区大手前１－５－４４　TEL：06-6942-1141
中国地方整備局 企画部 広域計画課 地方計画係
〒730-8530　広島市中区上八丁堀６－３０　TEL：082-511-6132
四国地方整備局 企画部 広域計画課 幹線道路調査係
〒760-8554　高松市サンポート３－３３　TEL：087-811-8309
九州地方整備局 企画部 企画課 事業調整・連携係
〒812-0013　福岡市博多区博多駅東２－１０－７　TEL：092-471-6331
沖縄総合事務局 開発建設部 建設行政課 事業調整係
〒900-0006　那覇市おもろまち２－１－１　TEL：098-866-1908

資料2

平成21年度

「手づくり郷土（ふるさと）賞」募集



















募集期間：
平成21年7月16日～9月11日

主催：国土交通省

手づくり郷土賞

地域の魅力や個性を創出している、良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動による郷土づくりの取組を募集します！

全国各地において、その地域固有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な資源として再認識し積極的に利活用した、魅力ある地域づくりの成功例が多く見受けられます。

このような地域の魅力や個性を創出している、良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を一体の成果として発掘･評価し、「手づくり郷土賞」として表彰することにより、好事例を広く全国に紹介し、個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が進むことを目指しています。

「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、平成21年度で24回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

部　門

手づくり郷土賞（一般部門）

募集対象

地域の魅力を創出している、社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果

選定のポイント

手づくり郷土賞の選考は、以下の視点に着目して行われます。

① 社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫
（地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての育成・活用 等）

② 地域活動における創意・工夫、取組の独創性
（新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組 等）

③ 地域づくりへの成果及び波及効果
（地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果 等）

④ 今後の活動の継続性・発展性
（住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫 等）

⑤ 他の参考となるような先進性・先導性

⑥ その他（上記以外の特に優れた内容）

手づくり郷土賞（大賞部門）

募集対象

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動 を含む成果

選定のポイント

手づくり郷土賞の選考は、以下の視点に着目して行われます。

① 社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫
（地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての育成・活用 等）

② 地域活動における創意・工夫、取組の独創性
（新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組 等）

③ 地域づくりへの成果及び波及効果
（地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果 等）

④ 今後の活動の継続性・発展性
（住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫 等）

⑤ 他の参考となるような先進性・先導性

⑥ その他（上記以外の特に優れた内容）

⑦ 社会資本の地域への定着状況
（地域のシンボルとして広く認識されている、多くの地域住民が日常的に活用 等）

⑧ 活動の継続状況
（規模を広げながら着実に継続している 等）

⑨ 活動の発展状況
（新たな取組を創出している、他地域へ波及している 等）

応募団体

社会資本を管理する地方公共団体（都道府県、市区町村）、又は社会資本を有効活用し地域づくり等に取り組む活動団体が、単体もしくは共同で応募することができます。

平成21年7月16日 募集開始 → 平成21年9月11日 募集締め切り → 平成22年1月 選定委員会 受賞団体選定 → 平成22年3月 選定結果の発表 認定証授与式

応募について

■提出いただくもの（応募資料）

① 応募用紙及び参考資料 と その電子データ
② 自己ＰＲ映像（動画、音声付きパワーポイントもしくは静止画スライドショー）

※応募要領及び応募用紙については、国土交通省ホームページよりダウンロードしてください。
（http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tedukuri/what_furusato/what_furusato.html）

■応募方法

応募資料を、募集期間内に提出してください。なお、提出先は各地方の担当窓口において設定しますので、問い合わせ先（担当窓口）までご確認ください。

提出された応募資料は各地方整備局等にて取りまとめの上、応募要件のチェックを行った後、地方整備局等内に設置される地方運営委員会の評価結果を付し、国土交通本省に提出されます。

「手づくり郷土賞」の対象とならないものがあった場合は、各地方整備局等より、その旨通知いたします。

審査 及び 表彰

応募資料及び地方運営委員会の評価結果をもとに、学識者等からなる「手づくり郷土賞」選定委員会により審査を行います。

受賞者には認定証が授与され、また、選定された好事例は、パンフレットやホームページを通じて、広く全国に紹介する予定です。

「手づくり郷土賞」の対象とならないもの

次の事項に該当するものは、手づくり郷土賞の対象とはなりませんので、ご注意ください。

① 社会資本の整備、維持管理、利活用等と関わりが認められない活動
② 行政機関が主導している活動
③ 活動期間が３年未満の活動
④ 地域社会、地域住民への貢献が認められない活動
⑤ これまでに、全国規模で行われている同様主旨の他の表彰を受けている場合は、当時の表彰内容と今回の応募内容が同一のもの （内容の発展が認められれば可）

「手づくり郷土（ふるさと）賞」各地方整備局等 問い合わせ先（担当窓口）

北海道開発局 開発監理部 開発調整課	TEL：011-709-2311	札幌市北区北八条西2丁目
東北地方整備局 企画部 企画課	TEL：022-225-2171	仙台市青葉区二日町9-15
関東地方整備局 企画部 企画課	TEL：048-600-1329	さいたま市中央区新都心2-1
北陸地方整備局 企画部 広域計画課	TEL：025-370-6687	新潟市中央区美咲町1-1-1
中部地方整備局 企画部 広域計画課	TEL：052-953-8129	名古屋市中区三の丸2-5-1
近畿地方整備局 企画部 企画課	TEL：06-6942-1141	大阪市中央区大手前1-5-44
中国地方整備局 企画部 広域計画課	TEL：082-511-6132	広島市中区上八丁堀6-30
四国地方整備局 企画部 広域計画課	TEL：087-811-8309	高松市サンポート3-33
九州地方整備局 企画部 企画課	TEL：092-471-6331	福岡市博多区博多駅東2-10-7
沖縄総合事務局 開発建設部 建設行政課	TEL：098-866-1908	那覇市おもろまち2-1-1

資料3

平成２０年度の選定箇所について

野蒜築港跡を活用した地域活動（宮城県東松島市）

平成20年度は、一般部門において「野蒜築港跡」を活用した地域活動（東松島市教育委員会、野蒜築港ファンクラブによる共同応募）が「手づくり郷土賞」に認定されました。

＜「野蒜築港跡」の概要と地域活動の内容＞

野蒜築港は、明治政府の東北開発の最重要拠点として、現在の宮城県東松島市から石巻市一帯に計画され、国家事業として行われた日本最初の近代的洋式港湾建設事業です。

明治15年に成瀬川の河口に突堤が完成し利用を開始しますが、外港の波が荒く大型船の停泊が困難であったこと等から、外港工事に未着手のまま事業は中止されました。

築港跡地には、当時の土木技術を示す貴重な近代的洋式港湾施設（突堤跡や下水道、煉瓦橋台等）が残されており、その歴史的な価値が認められ、平成12年に土木学会推奨土木遺産に認定されました。

（野蒜築港跡の全景）



（煉瓦橋台）



（市内小学校での出前講座の様子）



「野蒜築港ファンクラブ」は、「野蒜築港史跡」の保全と活用に加え、次世代を担う子供たちのへの継承を目的として平成12年に設立されました。

自分たちの地域遺産「野蒜築港」への理解向上や興味の醸成を図り、地域が誇りを持って推奨する「野蒜築港史跡」を核とした地域づくりを進める為、見学者への案内ガイドや市内各小学校への出前講座等を積極的に実施しています。

現地で行われた認定証の伝達式では、東北地方整備局長から活動団体の代表者に国土交通大臣の認定証が手渡され、新聞やテレビでも大きく取り上げられました。



